

地方独立行政法人川崎町立病院  
平成29年度業務実績の評価結果

平成30年11月8日

川崎町

## 目 次

I はじめに	…1
II 年度評価の方法	…1
III 地方独立行政法人川崎町立病院平成 28 事業年度の業務実績に関する評価結果	
第1 全体評価	…2～3
第2 大項目評価	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	…4
2 業務運営の改善及び効率的に関する事項	…4
3 財務内容の改善に関する事項	…5
4 その他業務運営に関する重要事項	…5
5 予算(人件費の見積りを含む。)収支計画及び資金計画	…5～6
6 短期借入金の限度額	…6
7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	…6
8 余剰金の使途	…6
9 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	…6
第3 参考資料	
(1) 小項目評価の集計結果表	…7
(2) 平成29年度収支計画額及び決算額	…8

## I はじめに

地方独立行政法人川崎町立病院(以下「法人」という。)は、川崎町立病院の業務を継承して、平成 23 年 4 月に新たに独立行政法人として発足したものである。

今年度の法人の業務実績は、平成 27 年 4 月に川崎町長が定めた第2期中期目標(平成 27 年度～30 年度)の 29 年度(平成 29 年 4 月～30 年 3 月)達成度についての評価である。

法人から提出された「地方独立行政法人川崎町立病院事業実績報告書」に基づき、第2期中期計画を視野にいれながら、平成 29 年度の業務実績の評価を実施した。

## II 年度評価の方法 【P7 第 3 参考資料 (1)小項目評価の集計結果表参照】

地方独立行政法人川崎町立病院の平成 29 年度事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

(評価の基本方針)

(1) 評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の業務運営等について多面的な観点から総合的に評価を行い、評価を通じて法人の継続的な質的向上に資するものとする。

(2) 評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況を町民に分かりやすく示すものとする。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価をもとに、業務実績に関する法人からのヒアリング等を通じて、法人による自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた達成状況を確認した。また全体評価では項目別評価結果等を踏まえつつ、中期計画等の達成状況について総合的な評価を行った。

なお、項目別評価と全体評価の方法は、以下のとおりである。

(小項目評価)

法人が、年度計画を小項目ごとに次の 5 段階で自己評価を行った業務実績報告書に基づき、法人の自己評価と同様に 5 段階評価を行う。

5……年度計画を大幅に上回って実施している。

4……年度計画を上回って実施している。

3……年度計画を順調に実施している。

2……年度計画を十分に実施できていない。

1……年度計画を大幅に下回っている。

(大項目評価)

小項目評価の結果特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

S……中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

(特に認める場合)

A……中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。

(すべての小項目評価結果が3～5)

B……中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。

(小項目評価結果が3～5の割合が9割以上)

C……中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。

(小項目評価結果が3～5の割合が9割未満)

D……中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

(特に認める場合)

(全体評価)

(1) 項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

(2) 全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み(法人運営における自立性・機動性の発揮、財務内容の改善など)を積極的に評価することとする。

### Ⅲ 地方独立行政法人川崎町立病院平成 29 事業年度の業務実績に関する評価結果

#### 第1 全体評価

##### 1 町の評価結果

平成 29 年度の業務実績に関する評価は、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の大項目についてはC評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている)、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目についても C 評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている)、そして「財務内容の改善に関する事項」の大項目についてもC評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている)と、大項目すべてにおいてC評価が妥当と判断した。

## 2 町の全体評価に当たって考慮した事項

### (1) 主な取り組みや特色ある取り組み

平成 29 年度の主な取り組みや特色ある取り組みが下記のとおり行われた。

- ① 診療面では、地域の医療機関との連携のもと、患者に満足して頂ける良質な医療の提供と、快適な医療環境の充実に取り組んだ。また、9 月より患者満足度調査で要望が多かった白内障手術を再開することとなり、手術室の改修及び白内障手術装置・顕微鏡などの医療機器の更新を実施した。更に、医療の質及び安全性の確保としては、老朽化が進んだ胃大腸内視鏡装置や医療用画像管理システム(以下、「PACS」という。)の更新を実施した。医療安全対策については、他に法令・行動規範の遵守をはじめ、医療安全管理指針、リスクマネジメントマニュアル等の策定とインシデントレポートの事例報告の促進や、院内感染防止対策の徹底を行った。
  
- ② 人材確保の面では、医師の欠員が出たが、その後の補充が出来ず収益面で影響が出た。看護部では、看護師 3 名の育児休暇者や病欠等で欠員が出たが、主に人材派遣会社の紹介を活用し、欠員補充をすることが出来た。教育研修面では、看護部が認知症ケア加算 2 の関連で 2 名の看護師が研修を終了した。医療技術部の臨床検査技師が超音波検査士(消化器領域)の資格を習得した。他の職員も積極的に内外の研修に参加した。事業運営面では、8 月に病床数を 102 床から 99 床に 3 床減少し、病床運営の効率化を図ったと共に、特定疾患療養管理料の類上げを実施した。他には、眼科の白内障手術を再開し、作業療法士 1 名を採用し、収益の向上を図った。
  
- ③ 経営状況として、年間目標との比較で 1 人当たりの入院診療単位が、1,881 円上回ったが、年間 81.2 名と 4.8 名下回った。外来は診療単位が 2,556 円上回ったものの、患者数が 1 日平均 27.8 名と大幅に下回った。支出面では、目標比で経費は 2,539 千円増加し、材料費は 41,409 千円、人件費 4,773 千円減少した。平成 29 年度決算は、当期純利益△35,358 千円となり赤字決算となった。

### (2) 評価委員会の評価に当たっての意見等

特段、指摘などの意見はなかった。

## 第2 大項目評価

### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

インフォームドコンセントの重要性を認識し、より良い対応を心掛けた。地域医療連携室を中心に相談体制の充実を図った。医療の質及び患者サービスの向上について、高齢者のニーズに対応し、骨密度測定装置を新規に導入した。施設整備の改善として、診察室や受付前の窓ガラス遮蔽フィルム施行作業等を実施した。また、病棟の共同使用の洗面所のシンクが老朽化していたため交換を行った。住民との交流行事として、理学療法士、作業療法士による町内施設での健康体操を実施した。平成23年度から7回目(年1回実施)となる、患者満足度調査を2月に実施し、施設・療養環境、接遇に関する満足度及び患者ニーズ等の現状把握を行った。

#### (1) 町の評価結果

C評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

#### (2) 町の判断理由

評価において、14小項目中12小項目が評価の3~5で、その割合は12/14と9割未満となるため評価Cと判断した。

#### (3) 評価委員会の評価に当たっての意見等

特段、指摘などの意見はなかった。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

法人としての運営体制の確立については、法人運営の基本方針及び重要施策に関する事項を審議する為に、経営企画会議内で協議し、着実に実行するように努めた。経営企画会議では、経営を迅速に方針決定し、決定事項は着実に実行するように努めた。具体的には、骨密度装置の導入、各種施設基準の新規取得等で経営改善及び業務効率化を図った。

#### (1) 町の評価結果

C評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

#### (2) 町の判断理由

評価において、9小項目中7小項目が評価の3~5で、その割合は7/9と9割未満となるため評価Cと判断した。

#### (3) 評価委員会の評価に当たっての意見等

特段、指摘などの意見はなかった。

### 3 財務内容の改善に関する事項

予算、収支計画及び資金計画については、中期計画の枠の中で、収入増加対策や歳出の節減を図ったが、当期純利益は△35,358千円となり、赤字決算となった。

#### (1) 町の評価結果

C評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

#### (2) 町の判断理由

評価において、2小項目中1小項目が評価の3~5で、その割合は1/2と9割未満となるため評価Cと判断した。

#### (3) 評価委員会の評価に当たっての意見等

特段、指摘などの意見はなかった。

### 4 その他業務運営に関する重要事項

○新規事業に関しては、その都度準備委員会を設置し、内容などについては十分な検討を行う。

○医療機器備品計画リストを作成し、財務状況を視野に入れ、収益向上に寄与するものを中心に検討する。また、購入後のランニングコストを含めた計画、実施を行う。

#### (1) 町の評価結果

C評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

#### (2) 町の判断理由

各部署からの要望を伺い、その中で必要度を判断し、医療機器備品計画リストを作成している。今年度の医療機器購入も、眼科手術機器やPACS等収益向上に寄与する物件や、老朽化に伴う買替等が対象で、年度計画に従い予算を執行した。

しかし、オーダリングシステムの導入について、昨年に続き、収支状況等をみながら検討した結果、導入が見送られたことにより、評価をCと判断した。

### 5 予算(人件費の見積りを含む。)収支計画及び資金計画

業務運営体制の効率化に関する目標を達成するための計画を確実に実施することにより、全体の財務内容の改善を図る。

(1) 町の評価結果

C評価(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

(2) 町の判断理由

当期純利益は△35,358 千円となり、赤字決算となったことにより、評価をCと判断した。

6 短期借入金の限度額

限度額 100 百万円。現時点では想定できないが、万一の資金不足への対応を行う。

(1) 町の評価結果

A評価(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)

(2) 町の判断理由

今年度も年度計画で想定された短期借入金を要する資金不足の状況は発生せず、事業資金は自己資金で賄ったため、評価をAと判断した。

7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

年度計画はない。

(1) 町の評価結果

平成 29 年度は、該当がないため評価の対象外とした。

8 余剰金の使途

決算において剰余金を生じたときは、将来の投資(病院建物の整備、修繕、医療機器等の購入等)及び地方独立行政法人第 40 条により処理する。

(1) 町の評価結果

平成 29 年度は、該当がないため評価の対象外とした。

9 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

年度計画はない。

(1) 町の評価結果

平成 29 年度は、該当がないため評価の対象外とした。



第3 参考資料  
 (1) 小項目評価の集計結果表

大項目	中項目	小項目	細目	H29 評価		
第1 住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上に関する事項		(1) 救急医療の取り組み		4		
		(2) 患者に満足される医療の提供	① インフォームドコンセントの充実 ② 入院患者への薬剤管理指導の充実	4		
		(3) より安心で信頼できる医療の提供	① 院内感染防止対策の実施 ② 医療安全対策についての実施	2		
		(4) 快適な医療環境の提供		3		
		(5) 質の高い医療の提供		3		
		(6) 法令・行動規範の遵守	① 法令・行動規範の遵守 ② 医薬品管理体制の充実 ③ 患者・家族の意見要望への対応 ④ 診療情報開示等の適切な対応	3		
		(7) ボランティアとの協働によるサービス向上		3		
		(8) 町の保健・福祉行政との連携		4		
		(9) 災害時における医療協力		2		
		第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上	(1) 医療スタッフの確保	① 医師の人材確保 ② 看護師及び医療技術職員等の人材確保 ③ 育児支援等による人材確保 ④ 医師、看護師、医療技術部門の人材育成 ⑤ 事務部門の人材育成	4
(2) 専門性及び医療技術の向上				4		
(1) 経営マネジメントの強化				3		
(2) 収益の確保				2		
(3) 費用の節減				4		
(4) 人事評価制度の構築				2		
2 経営管理機能の充実	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立				3	
	(2) 将来の設備投資に向けた財源の確保				2	
第3 財務内容の改善に関する事項						

(2) 平成29年度 収支計画額及び決算額

(単位 千円)

区 分	計 画 額	決 算 額 (A)	差 額	(A) のうち町からの 繰 入 金
収益の部	1,204,177	1,132,145	△ 72,032	74,002 ①
営業収益	1,145,428	1,072,681	△ 72,747	37,859
医業収益	1,107,568	1,034,822	△ 72,746	
運営費負担金収益	37,860	37,859	△ 1	37,859
資産見返補助金戻入	0	0	0	
資産見返物品受贈額戻入	0	0	0	
その他営業収益	0	0	0	
営業外収益	58,748	59,464	716	36,143
運営費負担金収益	44,543	45,483	940	36,143
運営費交付金収益	0	0	0	0
その他営業外収益	14,205	13,981	△ 224	
臨時利益	1	0	△ 1	0
費用の部	1,185,150	1,167,503	△ 17,647	
営業費用	1,122,532	1,109,035	△ 13,497	
医業費用	1,072,936	1,060,450	△ 12,486	
給与費	591,367	586,332	△ 5,035	
材料費	301,289	288,344	△ 12,945	
経費	141,642	146,647	5,005	
減価償却費	32,305	33,534	1,229	
研究研修費	6,333	5,593	△ 740	
一般管理費	49,596	48,585	△ 1,011	
営業外費用	62,618	58,468	△ 4,150	
臨時損失	0	0	0	
純利益	19,027	△ 35,358	△ 54,385	
目的積立金取崩額	0	0	0	
総利益	19,027	△ 35,358	△ 54,385	

上記の繰入金とは別に、企業債償還元金 85,032千円のうち町からの繰入金②56,688千円ある。  
したがって、町からの繰入金 は、130,690千円 (①+②) である。